

平成29年度 決算・財政計画の比較

経営企画課 財政係

Ⅲ 財政計画

第3回いわき市水道事業経営審議会資料より抜粋

中期経営計画の計画期間（平成29～33年度）に係る財政計画は、アセットマネジメントの取組として策定済の長期財政収支見通し（40年間）を踏まえながら、新・経営プランの目標達成に向けた取組を実施していくものとして算出している。

《財政収支計画》（決算見込ベースで算出）

【上水道＋簡易水道、単位:億円】

区 分		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合 計
収益的収支 (税抜)	1 営業収益	87.7	86.9	86.1	85.6	84.8	431.1
	うち料金収入	82.9	82.6	82.2	82.0	81.3	411.0
	2 営業外収益	8.0	8.0	8.1	8.0	8.0	40.1
	収益的収入計(A)	95.7	94.9	94.2	93.6	92.8	471.2
	1 営業費用	71.2	73.1	74.6	76.0	77.1	372.0
	うち職員給与費	9.7	9.7	9.7	9.7	9.7	48.5
	うち減価償却費	34.1	35.8	37.3	38.7	39.8	185.7
	2 営業外費用	5.9	5.8	5.8	5.9	5.8	29.2
	収益的支出計 (B)	77.1	78.9	80.4	81.9	82.9	401.2
当年度純利益 (A)－(B)		18.6	16.0	13.8	11.7	9.9	70.0

第3回いわき市水道事業経営審議会資料より抜粋

《財政収支計画》（決算見込ベースで算出）

【上水道＋簡易水道、単位:億円】

区分		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合 計
資本的収支 (税込)	1 企業債	13.9	21.3	22.1	20.8	20.5	98.6
	2 他会計繰入金	5.4	5.7	8.0	5.2	4.3	28.6
	3 国（県）補助金	1.0	0.5	1.1	0.8	0.6	4.0
	4 工事負担金等	2.4	1.2	1.2	1.2	1.2	7.2
	資本的収入計（A）	22.7	28.7	32.4	28.0	26.6	138.4
	1 建設改良費	61.1	61.9	66.8	61.3	59.6	310.7
	2 企業債償還金	20.5	20.7	21.5	22.4	23.3	108.4
	資本的支出計（B）	81.6	82.6	88.3	83.7	82.9	419.1
収支不足額（C）＝（B）－（A）		58.9	53.9	55.9	55.7	56.3	280.7
補填財源（D）		106.1	99.7	98.9	95.2	91.0	490.9
資金残高（D）－（C）		47.2	45.8	43.0	39.5	34.7	－
企業債残高		272.0	272.6	273.2	271.6	268.8	－

財政計画の特徴

- ◆ 新・経営プランの目標達成に向けた取組を 実施していくものとして、中期経営計画期間（平成29～33年度）で策定したもの。
- ◆ 料金収入については、人口減少を踏まえて水需要を予測し、現行水道料金制度で算出。
- ◆ 主な投資事業は、老朽管更新事業や基幹浄水場連絡管整備事業などとしている。
- ◆ その財源となる企業債は、世代間の負担の公平性を勘案して残高の増高を抑制しながら適切に発行することとしている。

平成29年度財政計画・決算比較表

1 収益的收入

(単位:億円 税抜)

		財政計画額 a	決算額 b	差額 b-a	備 考
収益的收入	1 営業収益	87.7	88.3	0.6	
	(1) 料金収入	82.9	83.8	0.9	有水水量が計画と比較して増となったことにより増となった
	(2) 給水加入金等	4.8	4.5	△0.3	他会計負担金の減により減となった
	2 営業外収益	8.0	8.2	0.2	
	(1) 他会計繰入金	1.3	1.3	0.0	
	(2) 長期前受金戻入等	6.7	6.9	0.2	国庫補助金等の増により増となった
	計	95.7	96.5	0.8	

平成29年度財政計画・決算比較表

2 収益的支出

(単位:億円 税抜)

		財政計画額 a	決算額 b	差額 b-a	備 考
収益的支出	1 営業費用	71.2	68.1	△3.1	
	(1) 職員給与費	9.7	9.7	0.0	
	(2) 経費	27.4	25.7	△1.7	修繕費、資産減耗費等の減により減となった
	(3) 減価償却費	34.1	32.7	△1.4	繰越により減となった
	2 営業外費用	5.9	5.7	△0.2	
	(1) 支払利息等	5.9	5.7	△0.2	
	計	77.1	73.8	△3.3	
純利益(収入計－支出計)		18.6	22.7	4.1	

収益的収支のまとめ

- ◆収入においては、有収水量が計画と比較して増となったことなどから、全体で0.8億円の増となった。
- ◆支出においては、修繕費、減価償却費などが計画額と比較して減となったことから、全体で3.3億円の減となった。
- ◆収入が増となり、支出が減となったことから、純利益は、計画額と比較して4.1億円増となった。

平成29年度財政計画・決算比較表

3 資本的収入

(単位:億円 税込)

		財政計画額 a	決算額 b	差額 b-a	備 考
資本的収入	1 企業債	13.9	12.5	△1.4	対象事業の繰越に伴い借入額が減となった
	2 他会計繰入金	5.4	6.7	1.3	前年度事業(主に災害復旧事業)の完了に伴い増となった
	3 国(県)補助金	1.0	5.3	4.3	前年度事業(主に災害復旧事業)の完了に伴い増となった
	4 工事負担金等	2.4	2.7	0.3	
	計	22.7	27.2	4.5	

平成29年度財政計画・決算比較表

4 資本的支出

(単位:億円 税込)

		財政計画額 a	決算額 b	差額 b-a	備 考
資本的支出	1 建設改良費	61.1	65.9	4.8	繰越事業の完了に伴い増となった
	2 企業債償還金	20.5	20.5	0.0	
	計	81.6	86.4	4.8	
収支不足額(支出－収入)		58.9	59.2	0.3	

資本的収支のまとめ

- ◆収入においては、企業債が対象事業の翌年度繰越により減となったが、前年度からの繰越事業（主に災害復旧事業）の影響により、他会計繰入金や国庫補助金などが増となったことから、全体では計画額と比較して増となった。
- ◆支出においては、翌年度へ繰越した事業はあるものの、昨年度繰越した事業で完了した事業が多かったことなどから、全体では計画額と比較して増となった。

平成29年度財政計画・決算比較表

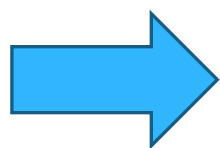
5 補填財源等

(単位:億円)

		財政計画額 a	決算額 b	差額 b-a	備 考
補填財源	1 損益勘定留保資金	61.1	88.6	27.5	過年度分損益勘定留保資金が増となったため増となった
	2 利益剰余金処分数額	22.4	26.1	3.7	平成28年度純利益が計画額と比較して増となったため増となった
	3 その他	22.6	27.5	4.9	平成29年度純利益が計画額と比較して増となったため増となった
	計	106.1	142.2	36.1	
資金残高 (補填財源－収支不足額)		47.2	83.0	35.8	
企業債残高		272.0	268.0	△4.0	借入額が減となったことにより減となった

まとめ

- ◆収益的収支は、計画額と比較して収入が増となり、支出が減となったことから、純利益は、4.1億円増となった。
- ◆資本的収支は、計画額と比較して繰越事業などの影響で収入が増となったものの、支出も増となったことから、収支不足額は0.3億円増となった。
- ◆補填財源は、計画額と比較して利益剰余金や過年度分損益勘定留保資金が増となったことなどから36.1億円の増となり、資本的収支の収支不足額を補填した後の資金残高は、35.8億円増の83億円となった。



計画を上回る純利益・資金残高を確保したことから、平成29年度の経営状況は良好と言える。

平成29年度決算を受けた収支見通し

1 収益的収支

(単位:億円 税抜)

区 分		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合 計
収 入	見通し額 A	96.5	96.0	94.2	93.6	92.8	473.1
	財政計画 B	95.7	94.9	94.2	93.6	92.8	471.2
	差額 A-B	0.8	1.1	0	0	0	1.9
支 出	見通し額 A	73.8	78.6	80.4	81.9	82.9	397.6
	財政計画 B	77.1	78.9	80.4	81.9	82.9	401.2
	差額 A-B	△3.3	△0.3	0	0	0	△3.6
純利益	見通し額 A	22.7	17.4	13.8	11.7	9.9	75.5
	財政計画 B	18.6	16.0	13.8	11.7	9.9	70.0
	差額 A-B	4.1	1.4	0	0	0	5.5

【見通し額】平成29年度:決算額 平成30年度:当初予算
平成31年度~:財政計画同額

平成29年度決算を受けた収支見通し

2 資本的収支

(単位:億円 税込)

区 分		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合 計
収入	見通し額 A	27. 2	39. 6	32. 4	28. 0	26. 6	153. 8
	財政計画 B	22. 7	28. 7	32. 4	28. 0	26. 6	138. 4
	差額 A－B	4. 5	10. 9	0	0	0	15. 4
支出	見通し額 A	86. 4	107. 9	88. 3	83. 7	82. 9	449. 0
	財政計画 B	81. 6	82. 6	88. 3	83. 7	82. 9	419. 1
	差額 A－B	4. 8	25. 3	0	0	0	30. 1
収支不足額	見通し額 A	59. 2	68. 3	55. 9	55. 7	56. 3	295. 4
	財政計画 B	58. 9	53. 9	55. 9	55. 7	56. 3	280. 7
	差額 A－B	0. 3	14. 4	0	0	0	14. 7

【見通し額】平成29年度:決算額 平成30年度:当初予算(繰越含む)
平成31年度～:財政計画同額

平成29年度決算を受けた収支見通し

3 補填財源等

(単位:億円 税込)

区 分		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合 計
補填財源	見通し額 A	142. 2	133. 9	118. 7	115. 0	110. 8	—
	財政計画 B	106. 1	99. 7	98. 9	95. 2	91. 0	—
	差額 A－B	36. 1	34. 2	19. 8	19. 8	19. 8	—
資金残額	見通し額 A	83. 0	65. 6	62. 8	59. 3	54. 5	—
	財政計画 B	47. 2	45. 8	43. 0	39. 5	34. 7	—
	差額 A－B	35. 8	19. 8	19. 8	19. 8	19. 8	—
企業債残高	見通し額 A	268. 0	271. 6	272. 2	270. 6	267. 8	—
	財政計画 B	272. 0	272. 6	273. 2	271. 6	268. 8	—
	差額 A－B	△4. 0	△1. 0	△1. 0	△1. 0	△1. 0	—

【見通し額】平成29年度:決算額 平成30年度:当初予算(繰越含む)
平成31年度～:財政計画同額